

予算特別委員会（全体会） 記録

開議年月日	令和8年3月18日
開議時刻	午後1時28分
閉会時刻	午後2時10分
出席委員名	◎吉井詩子 ○大西要一 大野寛文 小阪史章
	神谷明子 森下知世 中村栄治 山木英樹
	青沼陽一郎 杉村 剛 宮本 晃 谷口久美
	池田 覚 宮崎 誠 久保 真 中村 功
	上村和生 楠木宏彦 岡田善行 辻 孝記
	吉岡勝裕 品川幸久 宿 典泰
	北村 勝 議長
欠席委員名	
署名者	大野寛文 小阪史章
担当書記	森田晃司
審査案件	議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算
	議案第4号 令和8年度伊勢市国民健康保険特別会計予算
	議案第5号 令和8年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算
	議案第6号 令和8年度伊勢市介護保険特別会計予算
	議案第7号 令和8年度伊勢市観光交通対策特別会計予算
	議案第8号 令和8年度伊勢市土地取得特別会計予算
	議案第9号 令和8年度伊勢市病院事業会計予算
	議案第10号 令和8年度伊勢市水道事業会計予算
	議案第11号 令和8年度伊勢市下水道事業会計予算
説明員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

吉井委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」外8件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定した。

なお、一括9議案の起立採決の結果、「議案第3号」、「第4号」、「第5号」については賛成多数、他の6議案についてはそれぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午後1時28分

◎吉井詩子委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者は、当初決定のとおりです。

審査に入る前に、大野委員から3月11日の総務政策分科会での発言を訂正したいとの申し出がありますので、許可いたします。

大野委員。

○大野寛文委員

大野です。

3月11日に開催されました総務政策分科会における私の発言について訂正をさせていただきます。

款1消防費、項1消防費、目1常備消防費の質問において、「そのときに私がとても不便に思っていたのが、110番のほうに連絡をしたところ、コール音が鳴っている状態で繋がりませんでした。同時に119番も繋がらなかったです」と発言しましたが、この部分につきましては、言葉足らずの部分があり、市民の皆様には誤解を与えることとなりますので、お詫びするとともに発言の削除をお願いいたします。以上です。

◎吉井詩子委員長

この件につきまして、御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉井詩子委員長

御発言もないようですので、本件についてはこの程度で終わります。

本日御審査いただきます案件は、「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」外8件であります。

お諮りいたします。

審査の方法については、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉井詩子委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について、各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、総括質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

審査の都合により、「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」外8件を一括議題といたします。

それでは、各分科会から報告をお願いいたします。

最初に、産業建設分科会、岡田会長からお願いいたします。

岡田会長。

○岡田善行産業建設分科会会長

去る3月2日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月5日及び6日に審査を行いました。

「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第7号 令和8年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第8号 令和8年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第10号 令和8年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第11号 令和8年度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、歳出でございますが、総務費においては、伊勢市地域公共交通計画について、地域の住民の声を聴くことでよりよい計画としていくことを期待する意見、路線バスについて、バスロケーションシステムのさらなるPRを求める意見、高校生の自転車のマナーについて、交通違反に対する対策強化を求める意見、コミュニティバスについて、廃線の可能性がある路線において、一人でも乗客がいる区間であれば慎重に対応することを求める意見、自動運転バス実証について、早期の本格運用を期待する意見、リクエスト型交通について、他市で新たに導入されることから、情報収集・研究を求める意見がありました。また、委員外議員から交通空白地の解消の手段として、デマンドタクシー等の導入が必要であるとの意見がありました。

労働費においては、シルバー人材センターについて、会員が減ってきた現状があることから、年齢と働き方に対する考え方に変化が見られるため、状況を整理する必要があるとの意見がありました。

農林水産業費においては、蓮台寺柿プロモーションについて、結果が出るよう販路の確保に努めることを期待する意見、農村振興基本計画について、計画がPDCAサイクルになっていないため改善を求める意見、経営所得安定対策について、米不足問題への対応を求める意見、農業の担い手支援について、総合計画に沿って進めていくことを期待する意見、農業体験学習について、農業体験を通じて一人でも多くの子供が農業に関心を持って

もらえるような取組を期待する意見、多面的機能支払交付金について、景観や多様な生態系及び自然環境を保持していくために力を注いでほしいとの意見及び有効な事業であるためさらなる推進を期待する意見、産直施設について、老朽化した施設の更新には、増設・増築といった考え方もあるとの意見、土地改良区について、高齢化及び会員減少等の問題があり、今後事業を継続していくことが難しいのではと憂慮する意見、農道整備について、地元からの要望にできるだけ早く応えていくべきとの意見、獣害対策について、狩猟者の若手の育成や後継者を増やしていくような取組を期待する意見及び担当課だけでは厳しい部分があるため、他部署との連携を期待する意見、森林経営管理について、スピード感を持って意向調査に取り組むべきとの意見、水産振興について、関係団体と協力し、貝の養殖の検討を提案する意見及び海苔の養殖に施肥の効果が出ているとの意見がありました。

商工費においては、AIカメラによる通行量調査について、データを収集した後の見通しが重要であるとの意見、創業・スタートアップ支援について、創業を希望される方へのPRや窓口相談の充実等、さらなる努力を期待する意見がありました。

観光費においては、サイクルルート調整整備について、多様なアイデアを盛り込みながら引き続き進めてもらいたいとの意見、選ばれる観光地づくりについて、外国人旅行者に選ばれるためには夜間のイベント・遊び場が重要であるとの意見及び市民が観光に対する誇りや恩恵を感じることが必要との意見、御遷宮誘客について、遷宮に向けアンテナを高くして情報収集に努めることを期待する意見、インバウンド誘客について、お木曳行事が新たな観光客に来てもらうチャンスであるため、PRに努めることを期待する意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、調査結果をオープンデータ化し、市民がアクセスできるようにすることが大切であるとの意見及び進捗率を上げるようさらなる努力を期待する意見、伊勢市道路整備プログラムについて、将来の風景が見えるようなハード整備が必要との意見、高向小俣線ほか1線整備について、完成後に多くの方に使ってもらうことが大事であるとの意見、小木川について、流入量が多く雨水対策として河川改良が重要であるため、整備計画の延伸を期待する意見、まちなかウォークブルについて、高柳公園の整備が第2次お木曳行事に間に合わないのは残念であるが、他の商店街への波及効果を期待する意見、公営住宅の維持管理について、入居率減少に伴い委託料を減らしていくべきとの意見がありました。また、委員外議員から市営住宅について、以前と需給の状況が変化してきていることから、さらなる研究を期待する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、観光交通対策特別会計においては、現在検討中の宇治館町の立体駐車場について、建設費用が高額であるため、将来に負担を残さないよう慎重に進めていくことを求める意見がありました。土地取得特別会計においては、計画を進めていくために用地買収のさらなる努力に期待する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業会計においては、有収率を上げるために漏水対策が重要であるとの意見、三重県企業庁からの受水費について、少しでも安くなるよう交渉していくことを期待する意見、将来的に値上げが見込まれる水道料金について、市民は物価高に苦しんでいるため、慎重かつ丁寧に検討することを求める意見、下水道事業会計においては、下水道管路の更新について、関係機関と連携し、陥没事故が起こらないよう取組を求める意見、下水道事業費について、国からの補助金の見通しが不透明な状況で

あるため、財政部局とともに将来の方針をしっかりと検討するよう求める意見、下水道エリアの再編について、エリアから外れる市民への対応を環境部局と両輪で進めてほしいとの意見、工事の繰越しについて、繰越しが発生しないよう工事を分割して発注する等の工夫を求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎吉井詩子委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより、産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉井詩子委員長

御発言もないようでありますので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑を終わります。

次に、教育民生分科会、吉岡会長お願いいたします。

吉岡会長。

○吉岡勝裕教育民生分科会会長

去る3月2日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月9日及び10日に審査を行いました。

「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第6号 令和8年度伊勢市介護保険特別会計予算」及び「議案第9号 令和8年度伊勢市病院事業会計予算」については、それぞれ原案どおり可決することに異議がないこと、「議案第4号 令和8年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」及び「議案第5号 令和8年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」については、それぞれ原案どおり可決することに多数が異議ないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、歳出についてでございますが、民生費においては、生活支援給付金について、早期に支給されることを求める意見、再犯防止について、関係機関との連携により、早期支援につながる体制の構築を求める意見、成年後見制度について、多くの人に成年後見制度を知ってもらえるよう周知方法に工夫を求める意見、障がい者虐待防止について、啓発事業の強化による取組の推進に期待する意見、障害者就労施設等からの物品等の優先調達について、さらなる取組の推進に期待する意見、特別弔慰金について、支給対象者に寄り添った請求方法の周知に工夫を求める意見、特別支援学級の職場体験学習について、ワークステーションいせでの職場体験等、福祉部門とのさらなる連携強化を期待する意見、孤独・孤立対策について、ひきこもりや就労に不安を抱える方に対する支援の充実や環境整備を期待する意見及びワークステーションいせでの短時間雇用の推進に期待する意見、高齢者の交通安

全対策について、自転車安全利用講習会を活用した啓発により、道路交通法改正等の理解が深まることを期待する意見、学習サポート事業について、必要となる方に支援が届くよう、さらなるPRを期待する意見、いじめ相談体制について、子供たちがいつでもSOSを出せる環境の整備を期待する意見及びいじめ報告相談におけるデジタル化が進むことを期待する意見、保育士確保事業について、中高生への施設見学等の啓発活動を通じ、人材の確保が進むことを期待する意見、こども誰でも通園制度について、保育に不安を持つ方が利用しやすくなるよう制度の周知に工夫を求める意見、ひとり親家庭支援事業について、先進的な事業であり、子供への支援と併せた体制強化を期待する意見、子供の発達支援について、5歳児健診における小児科医との連携強化に期待する意見及び事業内容の精査により、適切な支援が受けられる環境が整うことを期待する意見がありました。

衛生費においては、離宮の湯について、今後の安定した経営と管理運営を求める意見、TNR活動について、地域の方に寄り添うことで、誰もが嫌な思いをしないよう行政の努力を求める意見、伊勢市健康マイレージについて、市民の生活習慣病予防のため、無関心層への周知に工夫を求める意見及び協賛いただく企業等との連携強化を期待する意見、骨髄バンクドナー登録について、登録者数の拡大に向けた取組を期待する意見、RSウイルスワクチンの定期接種化について、必要な方が予防接種を受けられるよう安全性の説明を含めた啓発を求める意見、歯周病検診について、受診率の低い世代に対する周知方法の再検討を求める意見、子宮頸がん検診について、若年層に対する啓発強化を求める意見、母子手帳アプリの導入について、データの引継ぎや多言語対応等、汎用性が高い機能の搭載を求める意見及び導入にかかる情報の周知方法の検討を求める意見、資源物の回収について、雑誌・雑がみ類の分別方法の啓発による再資源化の促進に期待する意見、ごみ減量化容器の購入補助について、事業促進のための周知啓発を求める意見、ふれあい収集事業について、持続的に取り組むことができる体制の構築を求める意見、廃食油のリサイクルについて、新技術の情報収集に努め、循環型社会の形成推進を求める意見がありました。

消防費においては、災害時の避難行動支援について、障がいのある方が避難情報を的確に受け取れるよう発信方法の検討を求める意見がありました。

教育費においては、学習支援について、サポートを必要とする子供たちが安心して学校生活を送ることができる環境整備に期待する意見及び必要な人材の確保を求める意見、通学安全対策について、子供たちが安心して通学できる環境の整備を求める意見、伊勢市奨学金について、物価高騰による市民生活への影響を考慮し、金額の見直しを含めた制度の検証を求める意見、小中学校適正規模化・適正配置推進計画について、地域住民との合意形成に努め、丁寧な取組を求める意見、いじめ防止対策について、ADR（裁判外紛争解決手続）の活用を期待する意見、学校図書館について、市立図書館との連携を強化し、調べ学習のサポート推進を期待する意見、移動図書館車について、地域行事での活用により、子供たちが本と接する機会の拡充を期待する意見及び企業版ふるさと納税の活用等により、継続的な支援が行われることを求める意見、図書館サービスについて、電子図書の充実を期待する意見、部活動の地域展開について、学校やクラブ間における活動場所や費用負担の公平性確保を求める意見、部活動運営体制について、夏季における熱中症対策の確立を求める意見、不登校対策について、進学等により生活環境が変わった後も、切れ目なく支援が継続されることを求める意見及びねすとルームを介することで、子供たちが登校に前

向きになれることを期待する意見、屋内運動場の整備について、令和8年度中の空調設備導入に期待する意見及びスポーツ少年団や地域での空調設備利用時の負担軽減を求める意見及び工事期間において発災時の避難場所の周知徹底を求める意見、生涯学習環境の整備について、活動場所の充実を求める意見及び令和8年4月に開館予定の伊勢市歴史博物館との連携により、伊勢の歴史や文化を学ぶ機会の創出を期待する意見、図書館の運営について、図書館が地域交流の場として機能することを期待する意見、生涯スポーツの推進について、需要が高いアーバンスポーツ施設の整備が若者の居場所づくりに繋がることを期待する意見及び気軽にスポーツを行える環境の整備を求める意見及びインクルーシブスポーツを体験できる機会の継続的な創出を求める意見、総合型地域スポーツクラブの運営について、部活動の地域展開を見据えた支援体制の強化を期待する意見、お伊勢さんマラソンについて、高い評価を維持できるよう、新たな魅力創出を期待する意見、体育施設の使用料について、キャッシュレス決済と現金決済のいずれの方法も選択ができるよう柔軟な対応を求める意見がありました。また、委員外議員から、子供が本に触れる環境の整備が必要であり、子供の読書活動推進を求める意見、学校給食の無償化により、給食の質が低下することのないよう持続可能な運営を求める意見がありました。

次に、特別会計でございますが、国民健康保険特別会計においては、保険料について、加入者の所得に占める割合が高く、負担軽減の工夫を求める意見がありました。

介護保険特別会計においては、介護事業所への支援について、事業所の経営状態の把握と支援に努めることを求める意見がありました。

なお、令和8年度から子ども・子育て支援金が保険料に加算され、市民負担がさらに増えることから、国民健康保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算に反対との意見がありました。

次に、企業会計でございますが、病院事業会計においては、人材確保に努めるとともに、質の高い医療の提供と健全な病院経営を求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎吉井詩子委員長

以上で、教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより、教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉井詩子委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑を終わります。次に、総務政策分科会、品川会長お願いします。

品川会長。

○品川幸久総務政策分科会会長

去る3月2日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の経過並びにその結果を御報

告申し上げます。

当分科会は、3月11日に審査を行いました。

「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」中、当分科会関係分は、原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分の歳出についてでございますが、総務費においては、職員採用について、全国的に人口減少や若手職員の離職が進んでいるが、技術職・専門職の確保や業務の魅力発信を期待する意見、男性職員の育児休業について、取得率向上につながる工夫を求める意見、職員研修について、ハラスメントに関する研修の充実を期待する意見、市のホームページについて、市民の声を拾い上げやすい問い合わせフォームなど、利用者にとって使い勝手の良い工夫を求める意見、住民情報システム管理について、国が進める基幹業務システム統一・標準化への移行後も、引き続き情報保護に努めることを求める意見、地域おこし協力隊について、退任後も伊勢に定住する方が一人でも増えるよう、行政のサポートを求める意見、ふるさと応援寄附金について、伊勢と関わりを持っていただけるような返礼品の検討を期待する意見、ふるさと納税型クラウドファンディングについて、目標達成できていない事業もあることから、周知や返礼品についての検証を期待する意見、出会い・結婚支援について、イベント参加者が相談しやすい雰囲気づくりを期待する意見、男女共同参画基本計画策定に向けたアンケート調査について、他部署と連携し、新たな視点を取り入れた調査を期待する意見、公共施設マネジメントについて、計画推進のためには、市民の理解が必要であることから、さらなる周知を求める意見、地域自治推進について、多くの方に活動に参加いただくとともに、デジタルを活用することにより地域の方々の負担軽減を期待する意見、伊勢市在住の外国人への対応について、地域に溶け込むための施策が必要であり、他市町の状況の情報収集を求める意見、戸籍住民課窓口業務委託について、一部を市直営で実施することにより、利用者の待ち時間短縮を期待する意見がありました。

民生費においては、非核平和都市宣言について、平和が当たり前のことと捉えるのではなく、しっかりと市取り組むことを期待する意見がありました。

消防費においては、消防車両の売却について、国際貢献という観点から外国への寄贈についても検討を求める意見、大規模停電時の対応について、中部電力との連携を密に行い、市民に対する適切な情報発信を求める意見、避難所での対応について、ストレスのかかりやすい環境下でトラブルが起りやすいため、支援を求める意見及びペットについても家族の一員であり、避難対策について検討を求める意見、防災行政無線について、放送内容が聞き取りにくいことがあり、しっかりと現地調査を求める意見、災害時の備蓄物資について、家庭でのフェーズフリーやローリングストックという考え方を通じた意識づけを期待する意見、感震ブレーカー設置補助について、財源のこともあるが、引き続き研究を求める意見がありました。

教育費においては、伊勢市歴史博物館について、ミュージアムグッズの販売に当たり、来館者の意見を取り入れるとともに情報発信強化を求める意見及びバリアフリー整備がされていることから、多くの来館を期待する意見、文化振興事業について、子供向け体験事業の拡充を期待する意見及び各部署・他団体との役割分担を期待する意見、歴史的資料の管理について、資料保存のあり方の検討を求める意見がありました。

審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。
以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎吉井詩子委員長

以上で、総務政策分科会会長報告は終了いたしました。
これより、総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。
御発言はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎吉井詩子委員長

御発言もないようでありますので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑を終わります。

これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わります。
続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。
よって、これをもって総括質疑を終わります。
続いて、議案第3号外8件一括に対する討論を行います。
討論はありませんか。
暫時休憩いたします。

休憩 午後1時58分

再開 午後1時58分

◎吉井詩子委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。
神谷委員。

○神谷明子委員

参政党、神谷明子でございます。

このたび、「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」に反対の立場より討論いたします。

款2総務費、項1総務管理費、目20交通対策費、事業名、地域公共交通促進事業中、自動運転バス実証事業におきまして、自動運転レベル4の認可取得に向け、車両を購入する件に関し、現時点では不要と考えます。

外宮と内宮を結ぶ観光路線への自動運転バスの導入を目指すこの事業ですが、該当の路線は道幅が狭く、拡張には時間を要します。

一方、昨年、実証実験ということで、自動運転バスに私が実際に乗車した際には、交差点を左折する際に、参加議員が手すりに頭を強くぶつける、駐車場所が当初の予定とずれたことで再起動が必要となるなど、想定外のアクシデントがあり、実用化には課題があるようでした。

さらには、自動運転バスの車両そのものはBYD社製と、実証実験の当日に知りましたが、BYD社の2025年の国内販売台数は3,700台程度と、まだ普及率は低いのが現状であ

ります。

日本国内での走行実績と信頼度、そして国益にかなうという観点からも国産自動車メーカーが自動運転バス分野へ進出するのを待つのが望ましいと考えます。

なお、先月27日には、東京都江東区新木場の区道において、伊勢市で使用している自動運転バスと同型のティアフォー社製のミニバス2.0が右前輪を中央分離帯の縁石に接触し、これにより都営バスでの自動運転の実証実験が延期になったという報道がなされております。

以上を根拠といたしまして、自動運転バスの購入は現時点では時期尚早と判断し、購入費用を令和8年度一般会計予算に計上することに反対いたします。以上です。

本来でありましたら、議案質疑を行うのが望ましいかと思われる案件でありまして、これから私、議場での立ち振る舞いをもっと学んでいきたいと思っております。以上です。

◎吉井詩子委員長

他にありませんか。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」及び「議案第4号 令和8年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第5号 令和8年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」以上3案について反対討論をさせていただきます。

共産党の楠木宏彦でございます。

まず一般会計でございますけれども、1つ目、地域公共交通促進事業についてですが、持続可能な地域公共交通ネットワークの活性化と言いながら、交通空白地域に対する改善策、そのための新しいシステムの研究などの予算が非常に不十分です。今市民にとっての地域公共交通問題は、市長の言われる新たなテクノロジーを活用したスマート交通ではなく、日常生活を支える市民の移動の自由をどう確保するかという問題です。市民の移動の権利を守り、拡張するという課題に向き合っていないという点からこの事業には問題があると考えます。

次に、出会い結婚支援事業ですけれども、人口減少が問題視をされております。この事業はそのことへの直接的な対応、つまり、産めよ増やせよという個人の生き方への干渉につながりかねないのではないのでしょうか。そうではなくて、結婚したいときに結婚でき、産みたいときに産み、育てることができるような雇用環境、あるいは保育環境、それからリプロダクティブライツが守られるような社会、そしてお金の心配をしなくていい教育、こういった環境を整備することこそが、この人口減少対策として求められているのではないのでしょうか。

次に、自衛官募集事業なんですけれども、これは入隊適齢者の氏名、住所、性別、生年月日を自衛隊に提供するものです。市は情報提供を希望しない本人などの申出により、提供名簿から除外する制度を2年前から始めましたけれども、実際、除外申請はゼロにとどまっているようです。市民から個人情報が出ているのが怖いと、こういった声もある一方で、そういう状況、高校、大学などへの周知が不十分であると言わざるを得ません。ま

た同時に、そもそもこの事業は個人情報保護の観点から許容することはできないと考えます。

以上、一般会計につきまして象徴的な事業について申し述べましたけれども、こういったことから、この会計予算に対して反対の意思を表明したいと思います。

次に、第4号の伊勢市国民健康保険特別会計ですけれども、国民健康保険は低所得者が多い医療保険です。滞納は現年度は全加入世帯の11%、繰越し分を含めると13.6%に及んでおります。そんな中でさらに保険料は値上げになっている。払える保険料にという、こういう声を前に私ども共産党としては、この予算に同意することはできません。

さらに、子ども・子育て支援の財源を健康保険料に求めるというのは合点がいきません。まさに取りやすいところから取るということだと思わんですが、安易すぎると言わざるを得ません。これは法令によるものとはいえ、政府のやり方を黙って見過ごすことはできないということでここで反対の意見を申し述べたいと思います。

同じく後期高齢者医療特別会計につきましても、やはり同じ子ども・子育て支援金保険料に上乘せするということがありますので、こういった点にも反対をいたします。

以上、第3号、第4号、第5号の3つの議案について、反対討論をさせていただきました。

◎吉井詩子委員長

他にないようですので、以上で討論を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午後2時06分

再開 午後2時06分

◎吉井詩子委員長

それでは休憩を解き会議を続けます。

ただいまから議案第3号外8件一括を採決いたします。

9件一括の議案のうち、まず、議案第3号、4号、5号をただいま申し上げた順に採決いたします。

最初に、「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第3号について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

[賛成者起立]

◎吉井詩子委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第3号 令和8年度伊勢市一般会計予算」は原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第4号 令和8年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第4号について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉井詩子委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第4号 令和8年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」は原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第5号 令和8年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」を採決いたします。

議案第5号について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉井詩子委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第5号 令和8年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」は原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、ただいま決定いたしました議案第3号、4号及び5号を除く、「議案第6号 令和8年度伊勢市介護保険特別会計予算」、「議案第7号 令和8年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第8号 令和8年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第9号 令和8年度伊勢市病院事業会計予算」、「議案第10号 令和8年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第11号 令和8年度伊勢市下水道事業会計予算」以上6件について、原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉井詩子委員長

起立全員と認めます。

よって、以上6件は原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で、本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成につきましては、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉井詩子委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。これをもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午後2時10分

上記署名する。

令和8年3月18日

委員長

委員

委員